



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します

f シェアする

Tweet

🗺️ サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」(前編) (株)アジア・メディアプロモーション 渡邊竜一さん

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」(前編)



渡邊 竜一 (ワタナベ・リュウイチ)

株式会社アジア・メディアプロモーション 代表取締役

神奈川県出身。

旅館の販売促進、情報誌「じゃらん」「ゼクシィ」等の編集、読者向けのイベント企画・運営を経て、株式会社リクルート地域活性部契約プランナーとして様々な地域活性事業に従事。

その後映画やドラマ制作者向けに全国のロケ地を紹介する情報誌「ロケーションジャパン」の創刊編集長を務め、中央省庁、都道府県等の観光アドバイザー、委員を歴任。徳島県上勝町の「いもどり」事業アドバイザーのほか、福島こどもみらい映画総合監修、秋田大館市活性化映画「ハナばあちゃん!!～わたしのヤマのカミサマ」プロデューサー、北海道への中国観光ブームを作った映画「狙った恋の落とし方」日本配給をプロデュース。沖縄県名護市を舞台とした映画「がじまる食堂の恋」が今年秋公開予定。また、秋田県の地域銀行理事として政・官・学・民・金の連携による基幹産業活性化の取組みを展開中。

■委員等

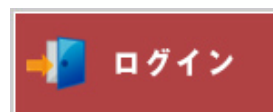
観光庁「スクリーンツーリズム促進プロジェクト」委員

青森県国際戦略プロジェクト推進委員会アドバイザー

秋田県総合政策審議会観光・交通部会委員

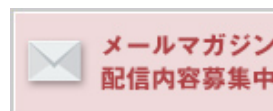
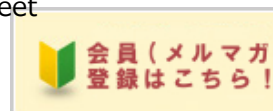
■その他役職

株式会社ホテル京阪 亜細亜圏市場開拓特別顧問



f シェアする

Tweet



🔍 サイト内検索

検索

🔍 もっと詳しく検索する

北都銀行 理事
株式会社あきた食彩プロデュース 執行役員メディア戦略部長
株式会社フィデア総合研究所 理事
株式会社パム地域産業研究所 取締役
北海道ゴルフ観光協会 幹事
一般社団法人国際観光文化交流協会 顧問

マチビトの第1回で紹介するのは、アジアメディア・プロモーションの渡邊竜一さんです。沖縄県名護市を舞台とした映画「がじまる食堂の恋」（今秋公開予定）の製作に関わられた経緯を中心に、コンテンツを活用した地域づくりについてお話をおうかがいしました。

映像コンテンツで地域を元気に！

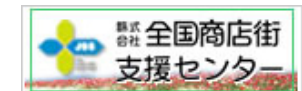
ーこれまでのまちづくりへの関わりについて教えてください。

2000年に運輸省（当時）が中心となり、政府の6省庁により、フィルムコミッション（*）設立に向けた研究会が立ち上がりました。同時期に大阪ロケーションサービスが設立されるなど、全国的にフィルムコミッションについての関心が高まった時期でした。翌年の2001年には、国の研究会の提言を受けて、全国フィルムコミッション連絡協議会が設立されました。

当時、私は、地域活性化の事業に関わっていて、この取り組みに大変高い関心を持っていました。後に映画・ドラマを地域に誘致して、地域の活性化を図ることを目的とした雑誌である「ロケーション・ジャパン」の発行に関わり、創刊編集長を務めました。その後、コンテンツをもとに人が集まるという取組をさらに進め、富山、福島映画祭の立ち上げに関わりました。また、2006年には、ジャパン・ロケーション・マーケット（経済産業省のコンテンツフェスティバルのプログラムのひとつ）で地方をコンテンツで元気にしようというイベントやセミナーを企画・実施しました。

そして、2008年くらいから、映画製作のプロジェクトに関わるようになり、秋田県大館市で「ハナバあちゃん!! ～ワタシのヤマのカミサマ」という映画を、地域の人々が参加する形で企画し、製作しました。映画製作を通して地域の求心力を高めていくことが目的でした。

2012年からは、沖縄県名護市の中心市街地で、地元が舞台となった映画「がじまる食堂の恋」を製作しました。本年（2014年）9月の公開に向けて、様々な仕掛けを準備中です。



「がじまる食堂（ロケセットに変更、人気のスポットに！）」



中心市街地活性化協議会
支援センター

J-Net21
中小企業ビジネス支援サイト

出典）名護まち活性計画LLP

（＊）フィルムコミッション

地域において、映像コンテンツの制作に関わるロケーション撮影を受け入れて、撮影をスムーズに進めるための各種の調整を行う機関。業務の例として、ロケ地における撮影許可の取得支援（道路使用許可、土地・建物所有者との交渉など）、制作スタッフの滞在中の支援（宿泊・飲食・移動の案内など）があげられる。

1 2 3 4

この記事をご覧になった方にはこちらが参考になります

名護まち活性計画LLP

中小企業庁 商業・地域サポート「商業活性化」

映画制作委託仕様書

がじまる食堂の恋

たびらい沖縄 映画「がじまる食堂の恋」で盛り上がる名護のまち

「まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」」（後編）

登録日 2014年7月03日（木曜） 00:58

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します

シェアする

Tweet

サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」(前編) – 2 ページ目

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」(前編)

沖縄県名護市の映画製作プロジェクト

一名護の映画製作プロジェクトについて教えてください。

○きっかけと経緯

沖縄の地域振興局にコンテンツ産業支援室が設立された際、当時の初代の担当として配属された方とお付き合いがありました。その後の異動で、その方がコンテンツ産業支援室に戻って来られることになりました。

その際、コンテンツによる地域振興のあり方について協議させていただいたこと、その協議をもとに名護の振興のためのプロジェクトとして企画を作成し、提案したことがきっかけです。

取組を進める組織として、地元事業者と通り会メンバーを中心として「名護まち活性化有限責任事業組合(LLP)」を設立しました。

2012年に中小企業庁の地域商業再生事業(平成24年度)の調査事業を受託、通りの活性化には何が必要か、という街のコンセプトをしっかりと話し合い決めていき、さらには地域の機能、来訪者のニーズ、他地域の事例等を元に、今後推進すべき事業の骨格を決めていきました。「緑と緑のまち」という通りの活性化テーマも決めました。

そして、調査事業を元に平成25年度のコミュニティ再生事業に申請し、通り会と地元情報事業社である(株)パムが事業を受託し、そして、活性化の事業主体としてのLLPを組成しました。ソフト事業としては、映画製作と地域の景観形成・街路の基盤整備(ハード事業)を実施し、ハード事業では、空き店舗3店分を改装してカフェを設置して、映画の舞台として使うなど、対象地域に3カ所の交流拠点をしました。

ログイン

会員(メルマガ)登録はこちら!

メールマガジン
配信内容募集中

マチイベ!
-街のイベント-
掲載依頼募集中

サイト内検索

検索

もっと詳しく検索する

事業の概要

当該事業では、「緑と縁の街」をテーマに、ハード・ソフト両面の事業を行います。

○コミュニティ機能再生支援事業（ソフト事業）

・名護大通りを中心とした市街地及び市内全域を舞台とした映画を製作

○コミュニティ機能再生施設等整備事業（ハード事業）

・商店街の修景（外壁・看板等）、滞留箇所の整備、街路樹等の日陰エリアの設置、地域住民との交流施設の整備等

出典）名護市広報（2013年9月）

○LLPによるまちづくり組織の役割

映像を活用した地域づくりの事業の実施にあたっては、LLPをまちづくりの中間組織として位置づけています。

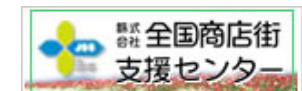
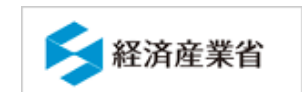
組織づくりにおいては、地域の金融機関も巻き込んで、様々な可能性を検討しました。地域活性に関わる取組において、最も重要で難しいのは意思決定のプロセスです。LLPによる組織は、意思決定のスキームを用意することができるという利点があり、参加するメンバーの中で利益を享受、分担していくためには、LLPの形態が最適であると判断しました。

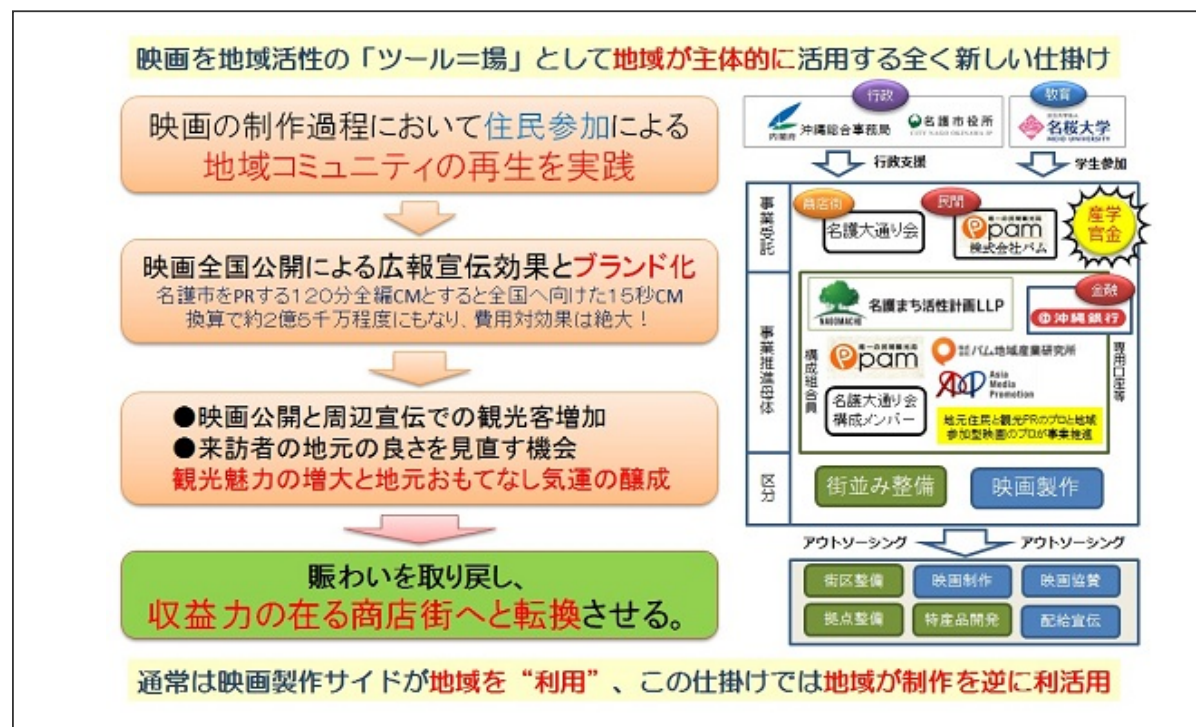
今回は、事業全体をLLPが企画して、総額3億円程度の事業費のうち2/3を映画制作として、製作会社に委託。作品の映像や商標はLLPが管理しています。

事業費の残りの1/3は地域づくりのハード事業として、街路整備の他、カフェなどの店舗整備、植栽や商店街の照明設備の設置などを行いました。

今回の取組では、地域の金融機関が、LLPの組織の立ち上げ、事業のつなぎ融資に加えて、映画の中に登場した地元の商品の販売チャネルの開発など、事業化にも参画。まちづくりに関連して、地域の金融機関に期待される役割は大きいと思います。

事業の全体像





出典) 名護まち活性計画LLP

1 2 3 4

この記事をご覧になった方にはこちらが参考になります

名護まち活性計画LLP

中小企業庁 商業・地域サポート「商業活性化」

映画制作委託仕様書

がじまる食堂の恋

たびらい沖縄 映画「がじまる食堂の恋」で盛り上がる名護のまち

「まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」」（後編）

登録日 2014年7月11日（金曜） 05:23

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します



Tweet

サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」（前編）－ 3 ページ目

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

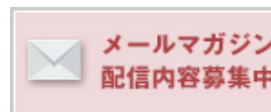
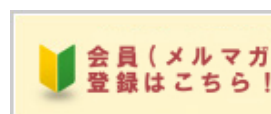
地図から検索

まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」（前編）

一名護の映画製作プロジェクトについて教えてください。（続き）

○映画製作の進め方

まちの活性化コンセプトで取り決めた来訪ターゲットである20～30歳代で首都圏の子どもがいる女性を、映画においてもメインのターゲットとし、感情移入ができるストーリーであることとしました。



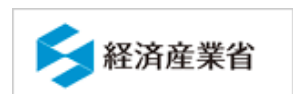
🔍 もっと詳しく検索する



『がじまる食堂の恋』

9月13日（土）沖縄先行公開

9月20日（土）シネマート新宿ほか全国ロードショー



(c) 2014名護まち活性計画有限責任事業組合

出演：波瑠 小柳友 竹富聖花 桜田通 /パッション屋良 ダンディ坂野 肥後克広（ダチョウ倶楽部）

監督：大谷健太郎 脚本：永田優子

製作：名護まち活性計画有限責任事業組合 配給：BS-TBS 配給協力：アーク・フィルムズ 宣伝：マジックアワー

制作プロダクション： TBSビジョン C&Iエンタテインメント RBCビジョン

2014年/日本/98分/5.1ch/シネマスコープ/カラー/デジタル

<http://gajimaru-shokudo.com/>



ストーリー立てをする前に、まちにあるべき要素を洗い出しました。その結果、ひんぷんガジュマルや食としての沖縄そばなどをあげました。また、必ずしも名護市内ではなくても、沖縄県北部地域をイメージするもの（ふくぎの並木、海岸、石垣など）も要素として入れています。地元の要素を入れすぎると単に観光プロモーション映像になってしまうため、地元特有の要素と新しい要素（今回の映画製作に合わせて企画された新商品など）とのバランスが重要です。観る側の視点も踏まえて、名護に来てもらう意味を考えて要素を抽出していきました。

そしてそれらの要素をストーリーの中に入れ込んだ上で脚本をつくり、映画を制作してもらうことを条件として、制作してくれる会社を募集したところ、17社から22本の企画があがってきました。その中からひとつを選んで契約しました。

製作にあたって重要なのがスケジュールのマネジメントです。実施主体であるLLPのメンバー内で、誰がいつまでに何をするのか、についてアクションタスクを書き出して管理していました。

名護のシンボル「ひんぷんガジュマル」



出典) 名護まち活性計画LLP

○地元大学の参加

地元の名城大学の協力により、学生がまちづくり活動に参加することに対して単位の認定を受けることができるようにしてもらいました。そのおかげで、学生の方々にwebの制作、かわら版（情報誌）の発行などにコアメンバーとして参画してもらうことができました。

最近はまちづくりなどに参加したいという学生が多く、彼らの思いの受け皿としての地域が求められています。学生に参加してもらうことは、地域にとっても利点があります。（地元と複雑な利害関係のない）学生の目線で取材・編集をやってもらうことで、まちの人たちの本音の声を拾ってすることができます。また、学生の声ならば、先入観がない分、まちのひとたちにも届きやすいと思います。

気をつけた点としては、あらかじめ学生たちが動くための枠組みを用意して、あとは任せること。例えば、事業主体側で、かわら版のゼロ号から1号にかけての項目出しを用意するなど、学生の方々がスタッフとして動きやすい環境づくりを心がけました。

地元大学（名城大学）による取材



出典) 名護まち活性計画LLP

1 2 3 4

この記事をご覧になった方にはこちらが参考になります

名護まち活性計画LLP

中小企業庁 商業・地域サポート「商業活性化」

映画制作委託仕様書

がじまる食堂の恋

たびらい沖縄 映画「がじまる食堂の恋」で盛り上がる名護のまち

「まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」」(後編)

登録日 2014年6月24日(火曜) 23:58

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省(法人番号 4000012090001)
主催/経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局/株式会社 野村総合研究所



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します

f シェアする

Tweet

サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」(前編) - 4ページ目

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」(前編)

一名護の映画製作プロジェクトについて教えてください。(続き)

○観光集客による経済効果

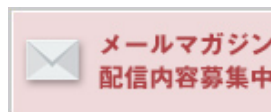
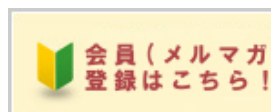
観光の視点からは、人をいかに呼んで、域内で消費してもらうかが重要で、そのためには滞在時間を伸ばすことが有効です。観光振興はPRをすることではなく、ホスピタリティを高めることが大切です。

また、PRについては口コミを活用することが有効です。(ホスピタリティを高めることで)まずは地元の人に地域を自慢してもらう。ひとりのコアなファンをつかまえて、その人が5~10人を連れ来てくれることを期待しています。

名護では、県道である名護大通りを拠点として、いろいろな行政機関に協力してもらいました。取組のひとつとして、街路にアートベンチを置くなど、商店街内に滞留してもらう仕掛けづくりをしました。まちの見え方として、人がいることが重要で、それが人を呼び込んでにぎわいや消費が生まれると考えています。

まちの景観づくりなどを進めることで、にぎわいが生まれて、それが結果として事業者にも利益をもたらし、地域が潤うことになるということに関係者が共有していくことが大切です。

アートベンチ



🔍 サイト内検索

検索

🔍 もっと詳しく検索する



出典) 名護まち活性計画LLP

○地元の人たちの参加促進

「映画をつくる」というのは、関わる人たちにとってもわかりやすい。今回の事業において、いろんな人が参加していく場づくりをすることに努めました。

また、取組のプロセスを「可視化」していくことも心がけました。そのための仕掛けとして、地元のTV局に依頼して、番組を制作してもらい、（事業の内容を紹介するだけではなく）観る側、巻き込まれる側の両方の立場にたって、情報発信しました。

まちづくりには逃げ道がたくさんあります。子育て・仕事が忙しいなど。地元のメディアで活動が取り上げられると、本人にとっては続けざるをえない状況になります。このように、地元メディアでの情報発信により、キーパーソンを背中を押してあげることができます。

映画プロジェクトを進めていくとその中で、地元でほんとうに動いてくれそうなキーパーソンが見



 @machigenki

 街元気 Facebook

 経済産業省

 MSP 中小企業基盤整備機構

 株式会社 全国商店街支援センター

えてきます。郷土愛があって、ビジネス感覚のある人たちが、地域に3人程度いれば充分取組を進めることができると思います。



製作発表会パレード



出典) 名護まち活性計画LLP

○名護における次の展開

名護ではまず9月の映画公開に向け、地元沖縄での意識高揚の仕掛けを続けていきます。また、LLPが受け皿となり、設置した3つの交流施設のさらなる来訪、リピート対策の強化、映画でプレイスメントされた様々なもの・景観・人・食などの交流魅力の要素を様々な手段で発信もしていきたいと考えています。

 シェアする Tweet

1 2 3 4

この記事をご覧になった方にはこちらが参考になります

名護まち活性計画LLP

中小企業庁 商業・地域サポート「商業活性化」

映画制作委託仕様書

がじまる食堂の恋

たびらい沖縄 映画「がじまる食堂の恋」で盛り上がる名護のまち

「まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」」（後編）

登録日 2014年6月24日（火曜） 23:58

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します

f シェアする

Tweet

🗺️ サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」(後編) (株)アジア・メディアプロモーション 渡邊竜一さん

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」(後編)



渡邊 竜一 (ワタナベ・リュウイチ)

株式会社アジア・メディアプロモーション 代表取締役

神奈川県出身。

旅館の販売促進、情報誌「じゃらん」「ゼクシィ」等の編集、読者向けのイベント企画・運営を経て、株式会社リクルート地域活性部契約プランナーとして様々な地域活性事業に従事。

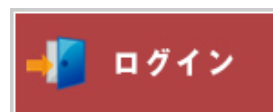
その後映画やドラマ制作者向けに全国のロケ地を紹介する情報誌「ロケーションジャパン」の創刊編集長を務め、中央省庁、都道府県等の観光アドバイザー、委員を歴任。徳島県上勝町の「いもどり」事業アドバイザーのほか、福島こどもみらい映画総合監修、秋田大館市活性化映画「ハナばあちゃん!!～わたしのヤマのカミサマ」プロデューサー、北海道への中国観光ブームを作った映画「狙った恋の落とし方」日本配給をプロデュース。沖縄県名護市を舞台とした映画「がじまる食堂の恋」が今年秋公開予定。また、秋田県の地域銀行理事として政・官・学・民・金の連携による基幹産業活性化の取組みを展開中。

■委員等

観光庁「スクリーンツーリズム促進プロジェクト」委員
青森県国際戦略プロジェクト推進委員会アドバイザー
秋田県総合政策審議会観光・交通部会委員

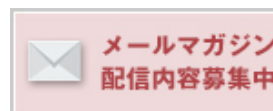
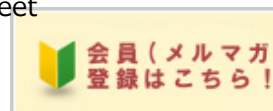
■その他役職

株式会社ホテル京阪 亜細亜圏市場開拓特別顧問



f シェアする

Tweet



🔍 サイト内検索

検索

🔍 もっと詳しく検索する

北都銀行 理事
株式会社あきた食彩プロデュース 執行役員メディア戦略部長
株式会社フィデア総合研究所 理事
株式会社パム地域産業研究所 取締役
北海道ゴルフ観光協会 幹事
一般社団法人国際観光文化交流協会 顧問

まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」（前編）から読む

まちづくりへの参加のしかけとしての映画製作

―映像コンテンツによる地域活性化のあり方について、どのようにお考えですか。

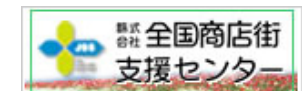
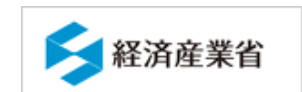
○フィルムコミッションと日本の映像コンテンツ産業

国内各地でフィルムコミッションが設置されて、ロケ誘致が展開されていますが、必ずしも成功しているわけではありません。ロケがやってきて、地域が活性化すると言われますが、ロケが地域にもたらす効果は制作時のスタッフの宿泊費・飲食費、それから、映画・ドラマが話題になったときの観光入込などだけです。そのため、ロケ地にとって経済的な効果があるのは、撮影時と映画の上映中程度。しかも、近年は映画のヒット率が低下傾向にあり、ロケを受け入れたからといって、必ずしも観光客増が期待できるというわけでもありません。

そのため、映画のロケが年に1回くるかどうか、という地域でフィルムコミッションを設置して運営していくことは難しいと思います。地域活性化を目的として、フィルムコミッションを設立して、一定の効果が期待できるのは、主に、大都市圏または大都市圏に近接する地域などに限られると思います。

当初、ハリウッド作品を誘致するようなフィルムコミッションをイメージして検討が始まったため、どうしても日本国内の地域には合わないところがあります。

また、近年は、日本のテレビや映画産業自体もメディアとしての影響力が下がっています。作り手としても、クリエイターを目指す若い人たちは、映像制作よりは、ゲームやCGの制作を選ぶようになっています。近年のライフスタイルの変化、余暇のあり方の変化により、例えば自宅にTVを持たない世帯も珍しくなくなってきました。一人暮らしの若者などの世帯では、TVではなく、PCと携帯が生活の中心となっている場合も多いと思います。



○フィルムコミッションの次にくる地域振興の仕掛

秋田県大館や沖縄県名護では、地域が主体となって、映画を製作して、映像作品を活用して、ビジネスにも関わるという手法を取り入れました。

製作プロセスの中で、プロモーションのポイントを作り、地域において協働の意識を高めていくことを心がけました。例えば、今回の映画製作では、地元で映画の製作発表をしたり、地元でオーディションを開催したり、キャストが決まってその発表をしたり、地元メディアに特集番組を制作してもらったりなど。地域で映画を製作するプロセスを様々な形で情報発信に利用しました。

地域主体で映像作品を製作することは、低迷している映像産業にとっても、地域とともに生き残っていく道のひとつでもあると思います。



製作発表会シンポジウム



出典) 名護まち活性計画LLP

■ [この記事をご覧になった方にはこちらが参考になります](#)

[名護まち活性計画LLP](#)

[中小企業庁 商業・地域サポート「商業活性化」](#)

[映画制作委託仕様書](#)

[がじまる食堂の恋](#)

[たびらい沖縄 映画「がじまる食堂の恋」で盛り上がる名護のまち](#)

[「まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」」（前編）](#)

登録日 2014年7月11日（金曜）05:23

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します

シェアする

Tweet

サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」(後編) - 2 ページ目

街と、人と、生きていく。
マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」(後編)

一映像コンテンツによる地域活性化のあり方について、どのようにお考えですか。

(続き)

○映画を活用した地域づくり

映画製作そのものを目的としているわけではなく、映画を活用した地域づくりが目的です。映画製作の先の観光集客、商品販売等の事業化を目的としています。

秋田県大館や沖縄県名護では、すでに地域資源が発掘され、観光集客の受け皿づくりもされるなど、確実に次の動きができてきています。

交流拠点カフェ エニシ (開店前と開店後)



ログイン

会員(メルマガ)
登録はこちら!

メールマガジン
配信内容募集中

マチイベ!
-街のイベント-
掲載依頼募集中

サイト内検索

検索

もっと詳しく検索する



出典) 名護まち活性計画LLP

○取組を成功させるポイント ― まちづくりへの参加の仕掛けとしての映画製作

今回の映画製作の仕組みについては、当初から自分の頭の中にありました。ただ、もっと大切なのは、地域でそのアイデアを受け取ってくれる体制があるかどうかです。

秋田県大館市の「ハナばあちゃん!!」はひな形となっていて、ひとつ事例を作っておけば、次から仕組みを説明する際に、負担が軽くなります。

名護市の映画製作事業に先立って、平成24年度に調査事業としてまちづくりシンポジウムを実施しました。その際、「ハナばあちゃん!!」を先行事例として紹介して、関係者に事業についての理解を深めてもらいました。

その調査事業に続けて、平成25年に地域商業再生事業として映画製作を実施しました。ここでは、まちづくりへの参加の仕掛けとして、映画製作を位置づけています。

映画では、作品の本編で紹介するにあたって、特に業種や組織を選ばないため、地元の多様な事業者・組織に参加してもらうことが可能となります。

名護の映画製作の原点となった「ハナばあちゃん!!」





出典) おおだて映像計画LLP

■ [この記事をご覧になった方にはこちらが参考になります](#)

[名護まち活性計画LLP](#)

[中小企業庁 商業・地域サポート「商業活性化」](#)

[映画制作委託仕様書](#)

[がじまる食堂の恋](#)

[たびらい沖縄 映画「がじまる食堂の恋」で盛り上がる名護のまち](#)

[「まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」」（前編）](#)

登録日 2014年7月11日（金曜）05:23

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」（後編）－ 3 ページ目

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」（後編）

まちを「編集」する

ーまちづくりへの関わり方として、意識されていることはありますか。

○「風の人」としての関わり

まちづくりには正解はありません。関わっている人たちの最大公約数として、納得できる落としどころをみつけていく作業となります。

まちづくりを進める上で、「風の人」、「土の人」が必要です。「風の人」が外部から来て風を吹かせる人、「土の人」が地域に根付いている人。私は「風の人」として、知っている限りの情報を提供します。一方で、それを受け取ってくれる「土の人」である地元の人が必要です。両者が役割分担して、まちづくりを進めることが求められるわけです。

○「地域のプロデューサー」というより「まちの編集長」

私は雑誌の編集に関わってきたことから、まちづくりへの関わり方を例えて言う「まちの編集長」。雑誌の編集長は、「この時期だからこのテーマで誌面を構成しよう」という方針を決めて、表紙もタイトルも決めます。

まちづくりのプロセスの中で、市民の視点を拾っていく作業、関係者と顔を合わせてベクトル合わせをしていく作業などは編集作業にも通じるところがあります。

雑誌づくりでいえば、今後、「特集」を組んでくれる地域、商店街があれば一緒にやりたいです。映画製作に関しては、大館や名護をモデルとして、他地域でも実施可能であり、現在は、海外との共同製作プロジェクトも検討しています。

ログイン

会員（メルマガ）登録はこちら！

メールマガジン
配信内容募集中

マチイベ！
ー街のイベントー
掲載依頼募集中

🔍 サイト内検索

検索

🔍 もっと詳しく検索する

【事務局コメント（取材後記）】

映像を活用したまちづくりというと、ロケ地ツアーや映画祭などがあげられます。渡邊さんは、そのどちらも経験し、まちづくりのしかけとしての限界を認識されてきました。その限界とは、話題が持続しないこと、そして、地元が著作権を持っていないために、映像を使った効果的な話題づくりができないことです。

また、地域がお金を用意して映画をつくるという取組は、大変ですが、珍しいことではありません。あまり知られていないのは、それほど話題にならなかったり、お蔵入りしてしまったりする作品が多いからです。

大館（秋田）や名護（沖縄）の映画製作の事例が画期的であるところは、映画製作自体を目的とせず、その先を考えている点です。映画製作のプロセスを通じて地元の人たちの参加意識を高める、まちの修景をする、新商品を開発する、できあがった作品の著作権を地域が保有して戦略的に活用するなど、さまざまなしかけが用意されています。それらのしかけを丁寧に見ていくと、まちづくりでも使われている手法が見事に組み合わせられていることに気づきます。

興味のある方は、ぜひリンクページもご参照ください。まちづくりのヒントが見つかるかもしれません。

映画の公開が楽しみです。上映スケジュールはあらためて告知いたします。

まちづくりケース集



街元気サイトのポスター



@machigenki

f シェアする

Tweet

1 2 3

この記事をご覧になった方にはこちらが参考になります

名護まち活性計画LLP

中小企業庁 商業・地域サポート「商業活性化」

映画制作委託仕様書

がじまる食堂の恋

たびらい沖縄 映画「がじまる食堂の恋」で盛り上がる名護のまち

「まちづくりとしての映画製作―「まちの編集長」」（前編）

f 街元気 Facebook

経済産業省

中小企業基盤整備機構

株式会社 全国商店街 支援センター



[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.